



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 011 August 23, 2004

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

BSE関連ニュース

●BSE迅速テスト、ダブルチェックで検査体制強化

動植物衛生検疫局(APHIS)は、今年6月にBSE監視体制を強化して以来、2万8000件を超えるBSE迅速テストを実施している。また全国のBSEラボの検査の熟練度と当初2カ月のデータの検証も行ってきた。それを受けて今回同局は、検査精度強化のために検査体制を整備した。検査を2回行い、いずれかで反応が出た場合は「未確認」として、国立動物検疫研究所(NVSL)の免疫組織化学検査(IHC)に回して最終判断をする。

※2004年8月4日 aphis.usda.gov

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況(7月31日～8月4日)

●週間と畜頭数：62.5万頭(前年比13.2%減)。

●肥育牛の取引価格(100ポンド[約45kg]当たり)：
主要5市場では、平均82.20ドル(前週比2.78ドル安)。
枝肉価格は平均131.18ドル(同1.40ドル安)。

●1月～7月までのと畜頭数：前年同期比で13.4%減少し、米国の肉牛生産者が在庫頭数を増やし始めているという見方を裏付けている。南部48州の放牧地の状態は、先週時点で7割が良好/良とされ、生産者の意欲向上につながっている。

●牛肉価格：歩留まり等級3(YG3)のチョイスは、135.31ドル(前週比5.47ドル安)。YG2～3のセレクトは、130.97ドル(同4.76ドル安)。

●ビーフの売上不振で生体牛市場急落

6月に大きく上昇した生体牛取引価格は、夏場の消費低迷が続き、100ポンド当たり82ドルまで値を下げた。例年低調な時期とはいえ、予想以上の大幅な急落。

肥育業者も取引量の増加に努めたが、アナリストが期待するレベルには及ばず、特にサザン・プレーンズ(オクラホマ南部～テキサス北部)での取引が不振だった。

オクラホマシティにおける去勢牛の体重別、100ポンド(約45kg)当たりの価格(US\$)

体重(ポンド)	7月31日～8月4日
400～500	128.50～151.25
500～600	120.00～141.00
600～700(子牛)	108.75～126.75
600～700(若齢牛)	120.00～127.25
700～800	114.00～125.25
800～1000	103.50～115.25

※2004年8月6日 Cattle Outlook
(Glenn Grimes & Ron Plain)



米国食肉市場ニュース
～ 牛肉 ～

この背景には、豚肉と鶏肉の安値の影響による牛肉の需要低迷がある。小売業者では2週間前にボックスビーフを大量に仕入れて在庫も足りているため、牛肉価格が確実に下がるという見込みがない限り、当面は豚肉と鶏肉の販売に力を入れるとみられる。

牛肉の卸売市場は季節的に、9月第1週の祝日に向けた仕入れが完了する8月後半に回復するため、先週急落したボックスビーフの価格(チョイスが6.95ドル安)も底打ちと見られる。しかしこの回復も一時的で、例年卸値は9月2～3週までは低迷が続くため、生体牛取引価格は今後4～5週間は80～85ドル台で推移するとアナリストは予測している。

※2004年8月9日 Cattle Buyers Weekly

米国食肉市場ニュース
～ 豚肉 ～

豚肉市況(7月31日～8月4日)

- 週間と畜頭数：186.5万頭(前年比2.9%増)。
- 肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は、横這いもしくは前週比1.5ドル安。枝肉は前週比で0.14～2.41ドル高。
- 成豚の重量別取引価格：堅調が続く、前々週比で横這いから10ドル高。電話取引における重量別の取引価格は、40～50ポンドが98.00ドル、50～60ポンドが98.00ドル、60～70ポンドが84～87.50ドル。

100ポンド(約45kg)当りの豚肉製品価格(8月6日/US\$)

主要市場における100ポンド(約45kg)当りの最高価格(US\$)

	8月6日
ベオリア	54.00
セントポール	56.00
スーフォールズ	56.00
ミズーリ中央部	54.00

185ポンド物(約83.5kg)の枝肉平均価格(US\$)

	8月6日
東部トウモロコシ地帯	75.87
西部トウモロコシ地帯	77.89
アイオワ・ミネソタ	77.35
全 国	76.91

製品名	価 格 (前週比増減)	備 考
ロイン	115.89 (-4.11)	トリム1/4インチ
ポストン・バット	96.50 (-3.00)	トリム1/4インチ
ポークベリー	115.00 (変わらず)	14～16ポンド物 (約6.3～7.3kg)
ハム	78.00 (変わらず)	17～20ポンド物 (約7.7～9.1kg)

※2004年8月6日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

セーフティー関連
ニュース

●USDA、食品の安全性への取り組みを強化

米国農務省(USDA)は、食品を原因とする病気の発生を減らすための新しい取り組みを発表した。これは食品安全検査局(FSIS)が開発したもので、食品の安全性に関するデータ統合の強化、リスク概念を取り入れた査定と施行、プログラムの成果を公衆衛生監視データに繋げる、国外の食品安全を改善するなどが盛り込まれている。

FSISは、リスク管理の視点から検査システムを近代化する必要があり、状況への対応と公衆衛生確保のための体制が必要だとしている。

疾病管理・予防センター(CDC)の報告によれば、FSISの取り組みの結果、腸管出血性大腸菌(O157:H7)やサルモネラなどが原因とされる疾病の発生は著しく減少しているという。2003年の腸管出血性大腸菌による疾病は、2002年度に比べて36%減少した。

※2004年7月19日 Cattle Buyers Weekly

●FSIS、パンアメリカン食品安全協会(仮称)設立へ

食品安全検査局(FSIS)は、北米・中米・南米諸国が協力して食品の安全を推進する教育研究機関として、パンアメリカン食品安全協会(FSIA: Food Safety Institute of the Americas/仮称)の設立を発表した。食肉・鶏肉・鶏卵製品が対象で、既存のネットワークやプログラムとも連携して効率化を図る。本部はフロリダ州マイアミ。

※2004年8月4日 fsis.usda.gov



業界ニュース

●タイソンフーズ社、牛肉部門で利益確保

同社は今年第3四半期(4~6月)、4,400万ドルのヘッジ差益や販売能力に支えられ、牛肉加工部門で予想を上回る利益を上げた。

全体の業績も、鶏肉部門が3倍の増益、豚肉部門も好転したことから、純利益は1億6,100万ドル(前年同期7,900万ドル)、営業利益は3億2,300万ドル(同2億100万ドル)に達した。内訳は鶏肉で1億4,500万ドル、牛肉は1億1,800万ドル、豚肉は3,400万ドル、調理済み食品で700万ドル、その他で1,900万ドルとなっている。しかし同社は、第4四半期の利益は、国内の生体牛の供給不足の影響を受けると見ている。

※2004年8月2日 Cattle Buyers Weekly

●パッケージにレシピ添付で売上アップ

肉牛生産者協会(CBB)、全国豚肉委員会(NPB)などの協賛で実施した最新の調査によると、フレッシュビーフ・ポークのケースレディ製品のパッケージにレシピや調理のヒントを添付することで、売上アップの可能性があることが分かった。シズル感のある写真を含むこうした情報の提供は、マンネリ化する献立に悩む消費者にヒントを与え、普段馴染みのない部位を試すきっかけや購買意欲にもつながるとしている。

※2004年8月4日 MEAT NEWS.COM

イベント情報

●USMEF、全国6地区で教職員・栄養士向けに「食の安全セミナー」を開催

米国食肉輸出連合会 (USMEF) は、8月下旬から9月上旬にかけて、全国6都市で小中学校教職員や栄養士の方々を対象とした「食の安全セミナー」を開催いたします。

■セミナー内容: 「BSEの正しい知識 本当の安全対策とは?」

「アメリカ食育最新情報レポート 食の安全からBSEまで」

「パネルディスカッション・Q&Aセッション」

■日程・開催地区:

8月23日(月) 名古屋 名鉄グランドホテル

24日(火) 大阪 ホテル日航大阪

25日(水) 広島 リーガロイヤルホテル広島

26日(木) 福岡 博多都ホテル

28日(土) 札幌 京王プラザホテル

9月 5日(日) 仙台 仙台国際ホテル

■参加費:無料